

南北線だより

2019年7月発行

第5号

発行/国土交通省
鳥取河川国道事務所

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の検討をみなさまとともに進めます。

『南北線』は、鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の通称です。

第2回 アンケート調査等が終了しました。

たくさんのご意見、ありがとうございました！

とっとりよおかみやづ 鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の道路の計画検討にあたり、アンケート調査やオープンハウス、ヒアリング調査を実施し、「地域にとって望ましい案を考える際に何が重要か」、「インターチェンジなどアクセスを検討する際の配慮すべき点」、「道路整備による懸念事項」に関するたくさんのご意見を頂きました。

本号では、第2回意見聴取の実施状況や、みなさまからお聴きしたご意見の一部を紹介します。



◆検討の進め方

計画検討の流れ（案）

課題・ニーズの把握と道路計画の必要性の確認
地域・道路交通の課題と道路に求める機能を把握し、道路計画の必要性を確認します。

＜情報提供＞
計画の目的、地域や道路交通の状況を提示します。
オープンハウス、ニュースレター、ポータルサイト

＜意見把握＞
課題や計画の必要性に関する意見、道路整備にあたってのアイデアや配慮に関する意見を把握します。
アンケート、ヒアリング、ワークショップ

現在はこの段階です

複数案の設定と評価項目の設定
複数のルート帯（案）を検討のたたき台として提示します。
市民等のみなさまの懸念やニーズを把握し計画検討に反映させます。

＜情報提供＞
複数のルート帯（案）と各案の評価ポイント（案）を提示します。
オープンハウス、ニュースレター、ポータルサイト

＜意見把握＞
計画を検討する上で、重視する事項やアクセス検討の配慮点、道路整備による懸念事項を把握します。
アンケート、ヒアリング、ワークショップ

複数案の比較評価
市民等のみなさまのご意見を踏まえ、複数のルート帯（案）の比較評価を行います。
各案に対する期待や懸念をお聞きます。

＜情報提供＞
みなさまから頂いた意見結果や複数のルート帯（案）を提示します。
ニュースレター、ポータルサイト

＜意見把握＞
複数のルート帯（案）に対する期待や懸念について、具体的な意見を把握します。
ワークショップ

みなさまのご意見を踏まえ、「概略計画」をとりまとめます。

第1回意見聴取（平成30年5月～9月）

- ・住民アンケート ・事業所アンケート
- ・オープンハウス ・ヒアリング ・ワークショップ

第1回：約10,100件、約700人、約50団体
にご協力頂きました

第2回意見聴取（平成31年2月～実施中）

- ・住民アンケート ・事業所アンケート
- ・オープンハウス ・ヒアリング

第2回：約7,200件、約790人、約50団体
にご協力頂きました

- ・ワークショップ

引き続きワークショップにて
みなさまのご意見をお伺いします。



有識者委員会

提案
助言

市民・道路利用者のみなさま

◆アンケート調査

第2回アンケート調査（平成31年2月～3月）では、住民、事業所、道路利用者を対象にアンケートを実施し、「地域にとって望ましい案を考える際に何が重要か」、「インターチェンジなどアクセスを検討する際の配慮すべき点」、「道路整備による懸念事項」についてお聴きました。

◆道路利用者へのインタビュー調査の様子



▲道の駅神話の里白うさぎ



▲道の駅きなんせ岩美



▲砂丘会館

■実施概要

住民アンケート 回収数：約5,700件

- ・鳥取市（旧鳥取市、旧福部村）在住の方（約70,600世帯）に郵送

事業所アンケート 回収数：約740件

- ・鳥取県内外の企業を対象に約4,200事業所に郵送

道路利用者アンケート 回収数：約710件

- ・道の駅、観光施設にアンケート用紙の設置及びインタビュー形式による聞き取り調査を実施

みなさまから頂いた、ご意見のごく一部を紹介します。

【地域にとって望ましい案を考える際に何が重要か】

- ◆国道29号は、休日や平日の通勤時間帯の渋滞が気になっていたため、緩和されれば物流へも良い影響が出ると思う。また、国道29号を利用する人の為にもなり、地域の利便性の向上に繋がると思う。
- ◆安全は何よりも優先すべきことであり、安全で事故が起きにくいことが望ましい。
- ◆近年の自然災害の多さを考えると、千代川が氾濫してしまうのも全くないことでは無い。広範囲で浸水することを考えたら、絶対に代替路は必要。
- ◆万が一の場合、人命は優先されるもので、救急医療機関へ早く、安全に搬送できることが望ましい。
- ◆広域観光を促進することにより、県外・県内の人の動きが活発になる。

【インターチェンジなどアクセスを検討する際の配慮すべき点】

- ◆主要な観光地へのアクセスや、千代水地区を始めとした物流拠点からのアクセス向上による地域の活性化、産業振興。
- ◆インターチェンジ周辺の渋滞が発生しないように考えるべき。観光地への看板を設置すべき。通学路に多くの車が流れないように配慮すべき。

【道路整備による懸念事項】

- ◆生活環境、自然環境等に考慮し、出来るかぎり急カーブ、急勾配を避け、防音壁なども十分に考慮すること。
- ◆千代川に新しい橋を建設するのであれば自然環境、生物の保護等に十分留意してほしい。

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の検討状況は、ポータルサイトで、随時お知らせしています。

◆オープンハウス

オープンハウスでは、3つのルート帯（案）や、第1回意見聴取でお聴きた「地域・道路交通の課題」、「地域が求める道路の役割や機能」、「計画する上でのアイデアや配慮事項」に関する結果などについてパネルで展示し、来場された方にご紹介しました。

鳥取市駅南庁舎とイオンモール鳥取北の2会場（計6日間）で開催しました。

会場では、アンケート調査に回答していただくだけでなく、多くの質問やご意見も頂きました。

■開催概要

開催日と来訪者数

鳥取市 駅南庁舎
平成31年 2月13日(水)～14日(木)
2日間計 約80人

イオンモール鳥取北
平成31年 3月1日(金)～4日(月)
4日間計 約710人

みなさまから頂いた、ご意見のごく一部を紹介します。

- ◆通過交通のための別線道路はいると思うが、市内の素通りも困る。
- ◆砂丘のほうまで行きやすくなった方が絶対良い。鳥取福部をつなげるのはとてもよいと思う。

◆鳥取市 駅南庁舎での開催の様子



◆イオンモール鳥取北での開催の様子



◆ヒアリング調査

◆ヒアリング調査の様子

ヒアリング調査では、自治体や関係団体、物流・観光事業者の方なども含め、約50団体の方たちを対象に、アンケートの内容を直接お伺いし、より具体的なご意見をお聴きました。



みなさまから頂いた、ご意見のごく一部を紹介します。

【地域にとって望ましい案を考える際に何が重要か】

- ◆渋滞の緩和ができれば、救急医療や物流、大気・騒音等、その他の項目についても効果が出ると思う。工事中の渋滞、建設費も大事だとは思いますが、まずは渋滞緩和が大事。

【インターチェンジなどアクセスを検討する際の配慮すべき点】

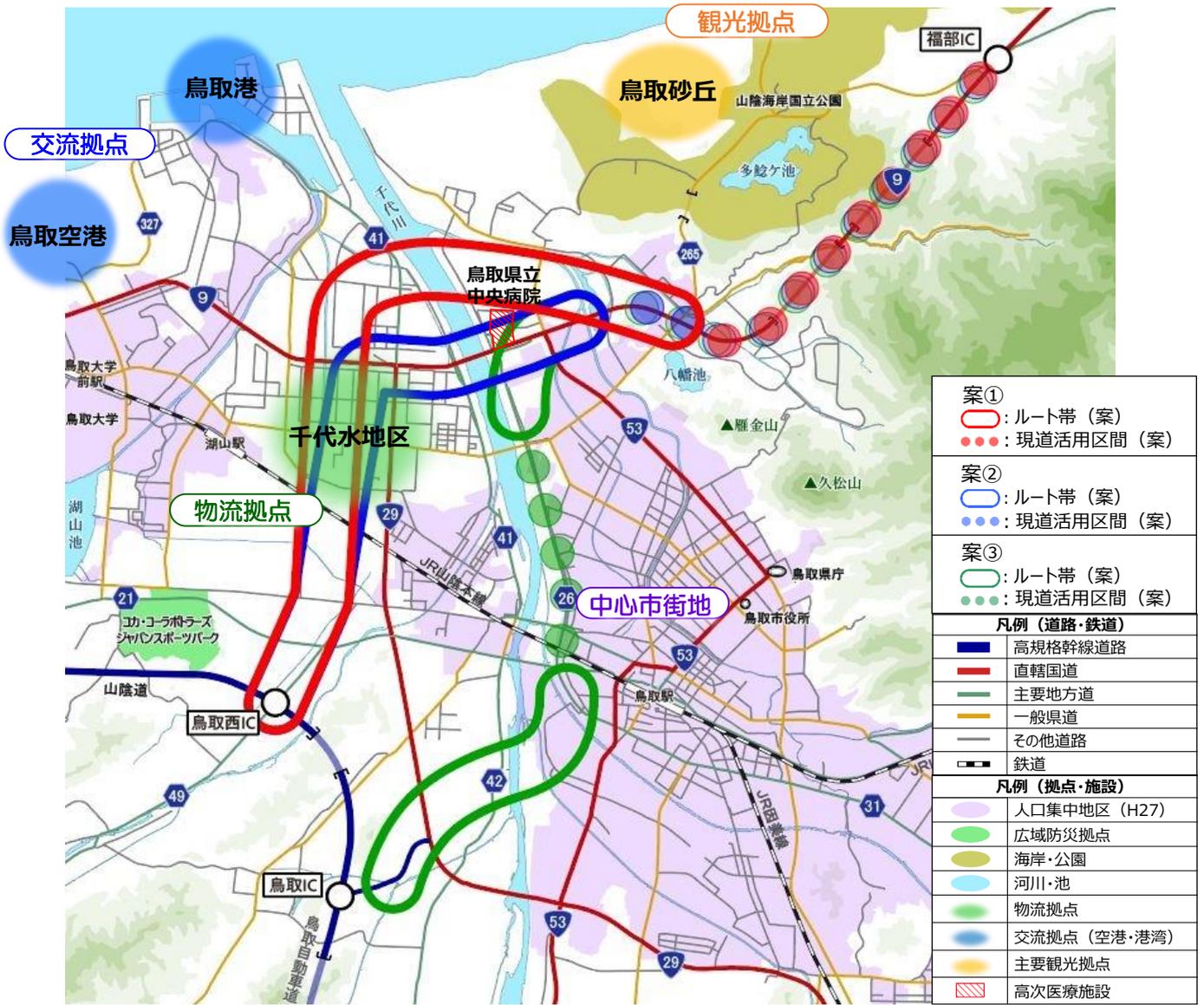
- ◆千代水地区及び鳥取港、鳥取空港へのアクセス。
- ◆観光拠点、物流拠点へのアクセスにインターチェンジがあると思う。観光面から、砂丘と賀露が行き来しやすくなれば周遊性もあがると思う。

【道路整備による懸念事項】

- ◆鳥取は高齢ドライバーが多いので、分かりやすく、複雑ではない構造の道路がいい。

◆現在検討中のルート帯（案）

◆3つのルート帯（案）



【案①】市街地を回避し、主要拠点を連絡する『全線バイパス案』

- ★物流拠点、交流拠点、観光拠点、高次医療施設へのアクセス性が向上。 ★千代川を渡る経路が増え、ネットワーク機能が向上。
- ★高速道路から中心市街地へのアクセス性は変わらない。

【案②】市街地を回避しつつ、整備区間を極力最短で結ぶ『部分バイパス+現道立体化案』

- ★物流拠点、観光拠点、高次医療施設へのアクセス性が向上。 ★現道の立体化工事にあたって、交通規制による長期間の交通混雑が考えられる。
- ★高速道路から中心市街地へのアクセス性は変わらない。

【案③】走行性の高い既存道路を活用する『部分バイパス+現道活用案』

- ★観光拠点、高次医療施設、高速道路から中心市街地へのアクセス性が向上。 ★物流拠点や交流拠点へのアクセス性は変わらない。
- ★整備延長が最も短くコスト面に優れてるが、一部、人口集中地区を通過することになる。 ★千代川を渡る経路が増え、ネットワーク機能が向上。

◆今後のワークショップ内容

今後のワークショップでは、みなさまにご協力いただきましたアンケート等の結果、ご意見を踏まえ、以下の内容について議論を行います。

- ・インターチェンジなどアクセスを検討する際の配慮すべき点（次回のテーマ）
- ・各ルート帯（案）に対する期待や懸念（今後予定しているテーマ）



ご意見・
お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 計画課
 電話：0857-22-8435（受付時間8:30～17:15） ※土日祝を除く
 メール：info-tottori@cgr.mlit.go.jp
 ポータルサイト：<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/road/tottorifukube/index.html>

